

シーコルズ優勝

ハンドボールの第46回県総合選手権大会最終日は24日、八重瀬町東風平公園体育館で行われ、男子決勝は那覇西クラブが28-22で沖縄クラブを下して優勝。女子はシーコルズが21-20で那覇西クラブに逆転勝ちし、栄冠に輝いた。

那覇西ク	31	23	B	I	C
△同決勝					
那覇西ク	28	13	15	12	10
22	沖縄ク				
△女子準決勝					
那覇西ク	33	29	那覇西高		
シーコルズ	25	21	コザ高		
△同決勝					
シーコルズ	21	12	12	20	那覇西ク
9	8	12	20	那覇西ク	
△マスターズの部					
コザク	21	10	11	7	15
10	11	7	15	沖縄教員	
8	15	沖縄教員			

持久力強化 強敵を逆転

女子決勝はシーコルズがどろ連続ポイントで突き放し、見事な逆転勝ちで頂点に立った。相手は昨年10月の沖縄クラブトーナメント決勝で大敗した強敵・那覇西クラブ。前半で4点差を追い付くと、後半6分、永田志織のロングシュートな

どろ連続ポイントで突き放し、見事な逆転勝ちで頂点に立った。相手は昨年10月の沖縄クラブトーナメント決勝で大敗した強敵・那覇西クラブ。前半で4点差を追い付くと、後半6分、永田志織のロングシュートな



シーコルズー那覇西クラブ 後半11分、シーコルズの西銘紗貴がサイドからシュートを決め、16-14とリードを広げる＝八重瀬町・東風平体育館（中島一人撮影）

つた。最終日に準決勝、決勝が組まれる同大会での優勝を目指し、「今年に入り毎週末に高校生との練習試合を組み、スタミナアップを図った」と永田。ハーフタイム

「とにかく走り」と声を掛け合い、相手も苦しい時間帯に駆け回って、練習の成果を発揮した。永田が5得点、妹の永田小夏が6得点とチームを引っ張った。すばしっこさを武器に、サイドから駆け上がって4得点した西銘紗貴は「強い那覇西クラブにやっとなつた。練習の積み重ねでみんなの気持ちが一つになつたと喜んだ。GK宮里夏織の要所での好セーブも光った。『ディフェンスが頑張ってくれたので守りやすかった』と、攻守の切り替えのよさを勝因に挙げた。次の目標は4月の県一般選手権制覇。「この勢いで次も優勝を目指す」と選手らは声をそろえた。

(石川亮太)

那覇西ク栄冠

男子 守り固め速攻重ねる

男子決勝は、高さを生かしたディフェンスから速攻を繰り返して得点を重ねた那覇西クラブが、沖縄クラブを退け、栄冠をつかみ取った。

前半立ち上がりは、高い位置で守る作戦だったが、「相手に間を抜かれたので、引いて守るように切り替えた」と友利彬彦主将。182センチの喜友名正太と181センチの宮平淳司が中央を固めて、相手のロングシュートをはね返し、こぼれ球からカウンターを仕掛け、友利や金城裕二らの得点で点差を広げた。

出場メンバー全員が那覇西高OBで、友利主将は「先輩、後輩関係なく、コミュニケーションを取りながら試合を進めることができた」と、一致団結を勝因に挙げ、「ベンチメンバーも含めて総合力で勝てた」と喜んだ。

チームは昨年10月のクラブトーナメント制覇に続く栄冠で、喜友名は「九州派遣が懸かる4月の一般選手権も優勝し、3冠を目指したい」と気を引き締めた。



那覇西クラブー沖縄クラブ 相手ディフェンスをかわし、シュートを放つ那覇西クの金城裕二＝八重瀬町・東風平体育館